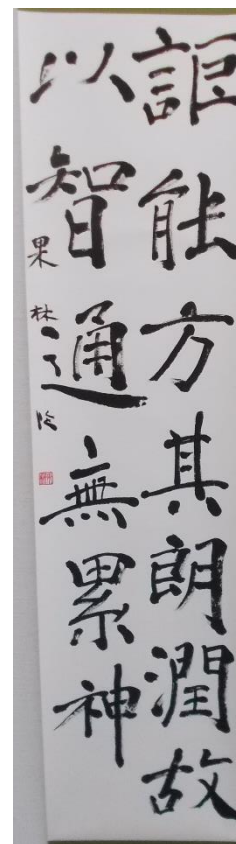
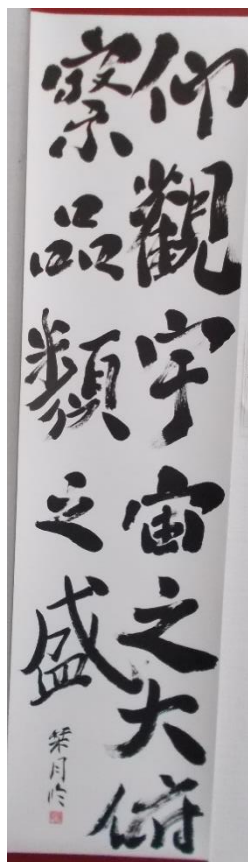
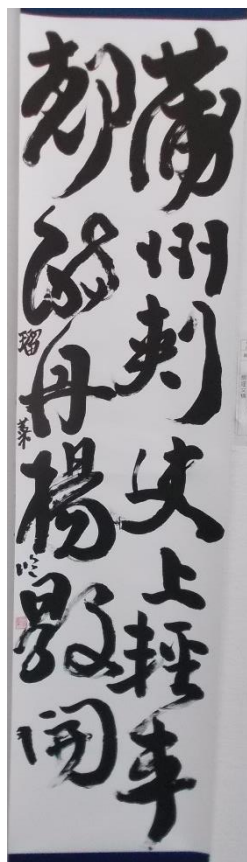
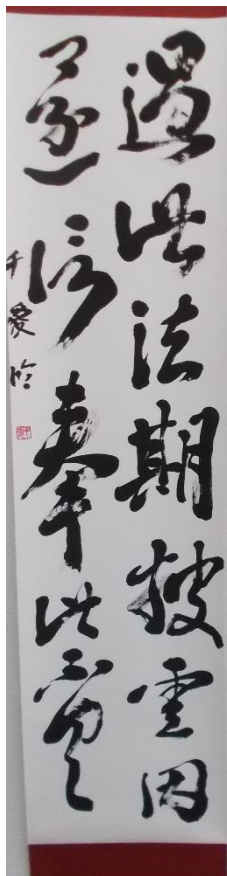


第66回高文連石狩支部書道展 紙上展覧会 3年生(2)



- | | | | |
|-------|---|-------|----------------------|
| 眞屋 果林 | 臨 | 雁塔聖教序 | 弾力の利いた線質で、余白もきれいである。 |
| 高屋 彩 | 臨 | 木簡 | 穂の開閉がみごとな作品に仕上がった。 |
| 長嶋 栞月 | 臨 | 蘭亭序 | 紙面全体に強弱の変化を取り入れた作風。 |
| 加藤 瑠菜 | 臨 | 祭姪文稿 | 墨量たっぷりの迫りに満ちた作。 |
| 森川 千愛 | 臨 | 風信帖 | 筆使いがスムーズで流れが出ている作品。 |

(評：顧問 小野)

野中竹峰先生

「北の書作家2020」に出陳

会期 2020年9月9日(水)～13日(日)

会場 札幌市民ギャラリー

新型コロナウイルスの影響で毎年4月末から行われている北海道書道展がやっと開催。

会員の先生方の展覧会に前顧問 野中先生の作品が展示されました。

「不踐迹(論語)」60×240 の作品です。

